

洪水ハザードマップ 木曽川

説明文

(1) この図は、木曽川水系木曽川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

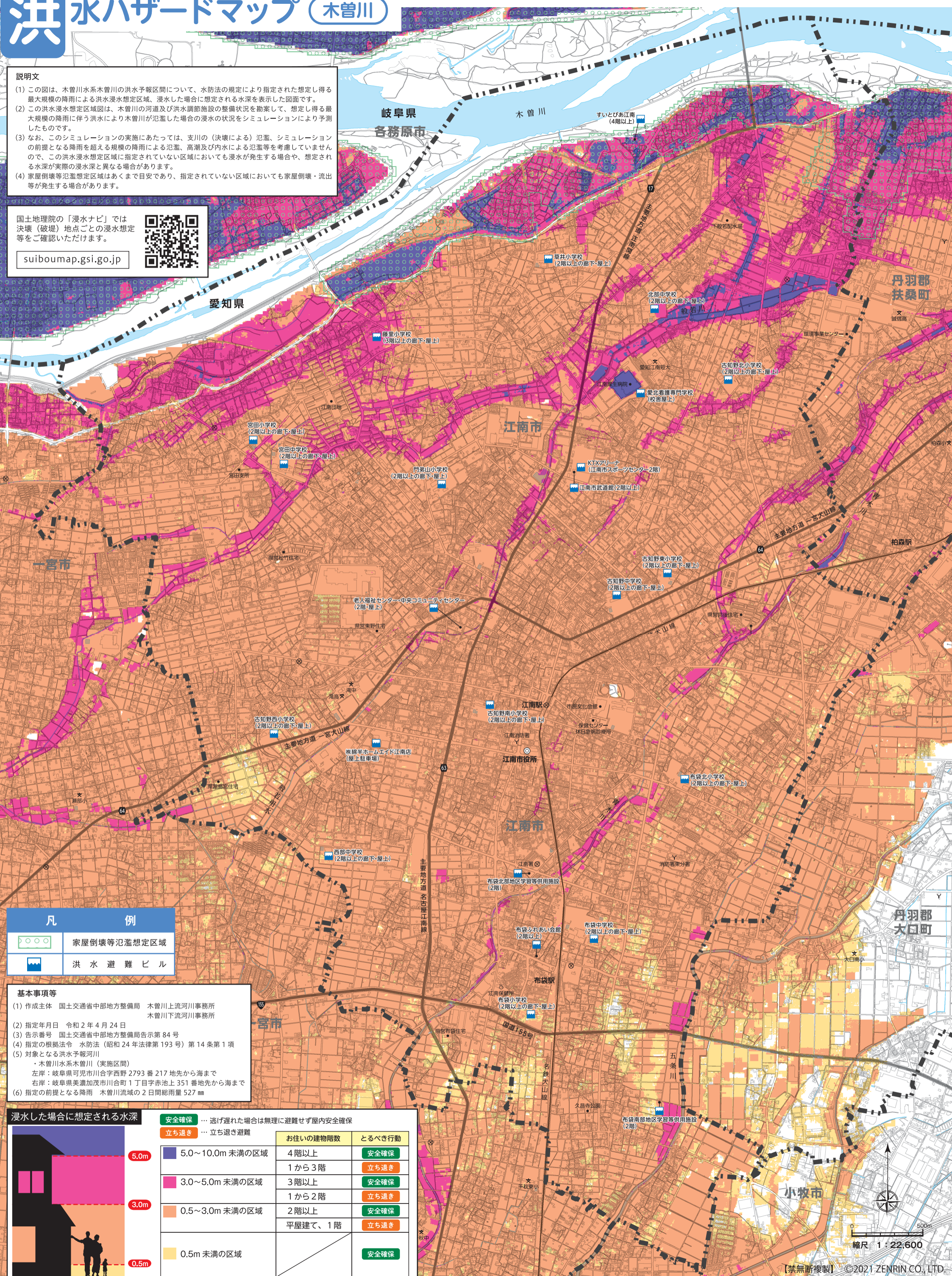
(2) この洪水浸水想定区域図は、木曽川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曽川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(4) 家屋倒壊等氾濫想定区域はあくまで目安であり、指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

国土地理院の「浸水ナビ」では決壊（破堤）地点ごとの浸水想定等をご確認いただけます。

suiboumap.gsi.go.jp



凡 例	
	家屋倒壊等氾濫想定区域
	洪水避難ビル

基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 木曽川下流河川事務所

(2) 指定年月日 令和2年4月24日

(3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第84号

(4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

(5) 対象となる洪水予報河川
・木曽川水系木曽川（実施区間）
左岸：岐阜県可児市川合字西野2793番217地先から海まで
右岸：岐阜県美濃加茂市川合町1丁目字赤池上351番地先から海まで

(6) 指定の前提となる降雨 木曽川流域の2日間総雨量527mm

浸水した場合に想定される水深		安全確保		立ち退き	
	5.0m	5.0~10.0m 未満の区域	4階以上	安全確保	安全確保
	3.0m	3.0~5.0m 未満の区域	1から3階	立ち退き	安全確保
		0.5~3.0m 未満の区域	3階以上	安全確保	立ち退き
	0.5m	0.5m 未満の区域	1から2階	安全確保	立ち退き
2階以上			安全確保	立ち退き	
		平屋建て、1階	安全確保	立ち退き	安全確保

※家屋倒壊等氾濫想定区域にお住まいの方は、立ち退き避難が必要です。
※洪水時は市指定の洪水避難ビルへの避難に限らず、近くの頑丈な高い建物に避難する等、最善の行動を取ってください。

この図は、木曽川水系木曽川の洪水予報区間について、浸水が予想される区域（洪水浸水想定区域）及び家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

縮尺 1:22,600

【禁無断複製】 ©2021 ZENRIN CO., LTD.